

【ごみ焼却施設における焼却灰等の放射能濃度測定結果について(4月分)】

すべての測定値で、国が示す暫定基準値8,000Bq/kg以下の値でした。

- ・測定機関 内藤環境管理株式会社
- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン（平成23年12月 環境省）
- ・測定器名 ゲルマニウム半導体検出器

焼却灰等の放射能濃度測定結果

単位: Bq/kg

施設名	検体	採取日	ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137	セシウム 合計
西部環境 センター	焼却灰	4月10日	不検出 (16)	57	83	140
	固化灰	4月10日	不検出 (28)	510	700	1210
	溶融スラグ	4月10日	不検出 (9.8)	14	13	27
東部環境 センター	焼却灰	4月10日	不検出 (11)	65	88	153
	飛灰	4月10日	不検出 (20)	400	580	980
クリーンセンター大崎 第一工場	焼却灰	4月10日	不検出 (7.8)	37	54	91
	飛灰	4月10日	不検出 (20)	500	700	1200
クリーンセンター大崎 第二工場	焼却灰	4月10日	不検出 (8.7)	58	80	138
	固化灰	4月10日	不検出 (18)	240	290	530
岩槻環境 センター	焼却灰	4月10日	不検出 (12)	59	99	158
	固化灰	4月10日	不検出 (23)	340	450	790

※「不検出」とは、検出限界値未満を表します。また、()内は検出下限値を表します。

- 焼却灰: 燃やしたごみの燃えがら
- 飛灰: ろ過式集じん器等で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)
- 固化灰: 飛灰を薬剤処理し、固化したもの
- 溶融スラグ: 焼却灰を高温で溶融した後、水で冷却したガラス質のもの

【ごみ焼却施設における空間放射線量測定結果について(4月分)】

- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン（平成23年12月 環境省）
- ・測定器名 CsI(Tl)シンチレーション検出器
- ・測定箇所 ごみ焼却施設の敷地境界の東西南北及びバックグラウンド

単位: $\mu\text{Sv/h}$

施設名	測定日	測定高	敷地境界				バック グラウンド
			東	西	南	北	
西部環境 センター	4月10日	1m	0.07	0.07	0.06	0.07	0.06
東部環境 センター	4月10日	1m	0.09	0.09	0.08	0.10	0.10
クリーン センター 大崎	4月10日	1m	0.08	0.07	0.07	0.10	0.08
岩槻環境 センター	4月10日	1m	0.07	0.10	0.07	0.07	0.08

※バックグラウンド: 焼却設備から十分離れた敷地境界

【第2回ごみ焼却施設における焼却灰等の放射能濃度測定結果について】

すべての測定値で、国が示す暫定基準値8,000Bq/kg以下の値でした。

- ・測定機関 内藤環境管理株式会社
- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン（平成23年12月 環境省）
- ・測定器名 ゲルマニウム半導体検出器

焼却灰等の放射能濃度測定結果

単位: Bq/kg

施設名	検体	採取日	ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137	セシウム 合計
西部環境 センター	焼却灰	5月8日	不検出 (11)	62	100	162
	固化灰	5月8日	不検出 (15)	73	110	183
	溶融スラグ	5月8日	不検出 (9.1)	不検出 (8.8)	不検出 (11)	不検出
東部環境 センター	焼却灰	5月8日	不検出 (13)	72	140	212
	飛灰	5月8日	不検出 (20)	460	700	1160
クリーンセンター大崎 第一工場	焼却灰	5月8日	不検出 (11)	58	110	168
	飛灰	5月8日	不検出 (30)	470	700	1170
クリーンセンター大崎 第二工場	焼却灰	5月8日	不検出 (11)	55	91	146
	固化灰	5月8日	不検出 (20)	270	310	580
岩槻環境 センター	焼却灰	5月8日	不検出 (15)	100	130	230
	固化灰	5月8日	不検出 (19)	230	330	560

※不検出: 検出限界値未満を表す

- 焼却灰: 燃やしたごみの燃えがら
- 飛灰: ろ過式集じん器等で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)
- 固化灰: 飛灰を薬剤処理し、固化したもの
- 溶融スラグ: 焼却灰を高温で溶融した後、水で冷却したガラス質のもの

【ごみ焼却施設における空間放射線量測定結果について】

- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン（平成23年12月 環境省）
- ・測定器名 CsI(Tl)シンチレーション検出器
- ・測定箇所 ごみ焼却施設の敷地境界の東西南北及びバックグラウンド

単位：μSv/h

施設名	測定日	測定高	敷地境界				バック グラウンド
			東	西	南	北	
西部環境 センター	5月8日	1m	0.07	0.07	0.06	0.06	0.06
東部環境 センター	5月8日	1m	0.09	0.09	0.08	0.09	0.09
クリーン センター 大崎	5月8日	1m	0.07	0.07	0.07	0.10	0.07
岩槻環境 センター	5月8日	1m	0.07	0.09	0.06	0.07	0.07

※バックグラウンド：焼却設備から十分離れた敷地境界

【第3回ごみ焼却施設における焼却灰等の放射能濃度測定結果について】

すべての測定値で、国が示す暫定基準値8,000Bq/kg以下の値でした。

- ・測定機関 内藤環境管理株式会社
- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン（平成23年12月 環境省）
- ・測定器名 ゲルマニウム半導体検出器

焼却灰等の放射能濃度測定結果

単位: Bq/kg

施設名	検体	採取日	ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137	セシウム 合計
西部環境 センター	焼却灰	6月12日	不検出 (7.5)	24	24	48
	固化灰	6月12日	不検出 (25)	160	230	390
	溶融スラグ	6月12日	不検出 (8.4)	12	21	33
東部環境 センター	焼却灰	6月12日	不検出 (12)	57	84	141
	飛灰	6月12日	不検出 (27)	380	530	910
クリーンセンター大崎 第一工場	焼却灰	6月12日	不検出 (12)	38	60	98
	飛灰	6月12日	不検出 (23)	350	540	890
クリーンセンター大崎 第二工場	焼却灰	6月12日	不検出 (12)	52	81	133
	固化灰	6月12日	不検出 (17)	190	300	490
岩槻環境 センター	焼却灰	6月12日	不検出 (15)	94	150	244
	固化灰	6月12日	不検出 (23)	310	470	780

※不検出: 検出限界値未満を表す

- 焼却灰: 燃やしたごみの燃えがら
- 飛灰: ろ過式集じん器等で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)
- 固化灰: 飛灰を薬剤処理し、固化したもの
- 溶融スラグ: 焼却灰を高温で溶融した後、水で冷却したガラス質のもの

【ごみ焼却施設における空間放射線量測定結果について】

- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン（平成23年12月 環境省）
- ・測定器名 CsI(Tl)シンチレーション検出器
- ・測定箇所 ごみ焼却施設の敷地境界の東西南北及びバックグラウンド

単位： $\mu\text{Sv/h}$

施設名	測定日	測定高	敷地境界				バック グラウンド
			東	西	南	北	
西部環境 センター	6月12日	1m	0.07	0.06	0.06	0.06	0.06
東部環境 センター	6月12日	1m	0.09	0.08	0.07	0.08	0.08
クリーン センター 大崎	6月12日	1m	0.07	0.07	0.07	0.09	0.07
岩槻環境 センター	6月12日	1m	0.07	0.09	0.06	0.07	0.07

※バックグラウンド：焼却設備から十分離れた敷地境界

【第4回ごみ焼却施設における焼却灰等の放射能濃度測定結果について】

すべての測定値で、国が示す暫定基準値8,000Bq/kg以下の値でした。

- ・測定機関 内藤環境管理株式会社
- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン（平成23年12月 環境省）
- ・測定器名 ゲルマニウム半導体検出器

焼却灰等の放射能濃度測定結果

単位: Bq/kg

施設名	検体	採取日	ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137	セシウム 合計
西部環境 センター	焼却灰	7月10日	不検出 (14)	36	49	85
	固化灰	7月10日	不検出 (17)	110	190	300
	溶融スラグ	7月10日	不検出 (9.9)	11	19	30
東部環境 センター	焼却灰	7月10日	不検出 (15)	56	77	133
	飛灰	7月10日	不検出 (25)	290	460	750
クリーンセンター大崎 第一工場	焼却灰	7月10日	不検出 (11)	36	61	97
	飛灰	7月10日	不検出 (24)	280	480	760
クリーンセンター大崎 第二工場	焼却灰	7月10日	不検出 (10)	51	57	108
	固化灰	7月10日	不検出 (25)	140	230	370
岩槻環境 センター	焼却灰	7月10日	不検出 (13)	94	140	234
	固化灰	7月10日	不検出 (20)	220	300	520

※不検出: 検出限界値未満を表す

- 焼却灰: 燃やしたごみの燃えがら
- 飛灰: ろ過式集じん器等で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)
- 固化灰: 飛灰を薬剤処理し、固化したもの
- 溶融スラグ: 焼却灰を高温で溶融した後、水で冷却したガラス質のもの

【ごみ焼却施設における空間放射線量測定結果について】

- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン（平成23年12月 環境省）
- ・測定器名 CsI(Tl)シンチレーション検出器
- ・測定箇所 ごみ焼却施設の敷地境界の東西南北及びバックグラウンド

単位：μSv/h

施設名	測定日	測定高	敷地境界				バック グラウンド
			東	西	南	北	
西部環境 センター	7月10日	1m	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06
東部環境 センター	7月10日	1m	0.09	0.08	0.07	0.08	0.08
クリーン センター 大崎	7月10日	1m	0.07	0.06	0.07	0.09	0.07
岩槻環境 センター	7月10日	1m	0.07	0.08	0.06	0.06	0.07

※バックグラウンド：焼却設備から十分離れた敷地境界

【第5回ごみ焼却施設における焼却灰等の放射能濃度測定結果について】

すべての測定値で、国が示す暫定基準値8,000Bq/kg以下の値でした。

- ・測定機関 内藤環境管理株式会社
- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン（平成23年12月 環境省）
- ・測定器名 ゲルマニウム半導体検出器

焼却灰等の放射能濃度測定結果

単位:Bq/kg

施設名	検体	採取日	ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137	セシウム 合計
西部環境 センター	焼却灰	8月8日	不検出 (15)	38	49	87
	固化灰	8月8日	不検出 (17)	140	220	360
	溶融スラグ	8月8日	不検出 (8.6)	8.7	15	23.7
東部環境 センター	焼却灰	8月8日	不検出 (11)	29	44	73
	飛灰	8月8日	不検出 (17)	320	490	810
クリーンセンター大崎 第一工場	焼却灰	8月8日	不検出 (10)	25	36	61
	飛灰	8月8日	不検出 (25)	300	450	750
クリーンセンター大崎 第二工場	焼却灰	8月8日	不検出 (13)	41	63	104
	固化灰	8月8日	不検出 (16)	140	230	370
岩槻環境 センター	焼却灰	8月8日	不検出 (11)	67	84	151
	固化灰	8月8日	不検出 (19)	170	260	430

※「不検出」とは、検出限界値未満を表します。また、()内は検出下限値を表します。

- 焼却灰:燃やしたごみの燃えがら
- 飛灰:ろ過式集じん器等で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)
- 固化灰:飛灰を薬剤処理し、固化したもの
- 溶融スラグ:焼却灰を高温で溶融した後、水で冷却したガラス質のもの

【ごみ焼却施設における空間放射線量測定結果について】

- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン（平成23年12月 環境省）
- ・測定器名 CsI(Tl)シンチレーション検出器
- ・測定箇所 ごみ焼却施設の敷地境界の東西南北及びバックグラウンド

単位： $\mu\text{Sv/h}$

施設名	測定日	測定高	敷地境界				バック グラウンド
			東	西	南	北	
西部環境 センター	8月8日	1m	0.08	0.07	0.07	0.06	0.07
東部環境 センター	8月8日	1m	0.09	0.09	0.07	0.08	0.08
クリーン センター 大崎	8月8日	1m	0.07	0.07	0.07	0.08	0.07
岩槻環境 センター	8月8日	1m	0.07	0.08	0.06	0.07	0.06

※バックグラウンド：焼却設備から十分離れた敷地境界

【第6回ごみ焼却施設における焼却灰等の放射能濃度測定結果について】

すべての測定値で、国が示す暫定基準値8,000Bq/kg以下の値でした。

- ・測定機関 内藤環境管理株式会社
- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン（平成23年12月 環境省）
- ・測定器名 ゲルマニウム半導体検出器

焼却灰等の放射能濃度測定結果

単位: Bq/kg

施設名	検体	採取日	ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137	セシウム 合計
西部環境 センター	焼却灰	9月11日	不検出 (15)	50	70	120
	固化灰	9月11日	不検出 (21)	320	540	860
	溶融スラグ	9月11日	不検出 (9.6)	不検出 (8.5)	不検出 (11)	不検出
東部環境 センター	焼却灰	9月11日	不検出 (10)	34	60	94
	飛灰	9月11日	不検出 (24)	280	450	730
クリーンセンター大崎 第一工場	焼却灰	9月11日	不検出 (11)	22	38	60
	飛灰	9月11日	不検出 (21)	210	320	530
クリーンセンター大崎 第二工場	焼却灰	9月11日	不検出 (11)	45	73	118
	固化灰	9月11日	不検出 (16)	120	230	350
岩槻環境 センター	焼却灰	9月11日	不検出 (11)	49	94	143
	固化灰	9月11日	不検出 (19)	170	300	470

※「不検出」とは、検出限界値未満を表します。また、()内は検出下限値を表します。

- 焼却灰: 燃やしたごみの燃えがら
- 飛灰: ろ過式集じん器等で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)
- 固化灰: 飛灰を薬剤処理し、固化したもの
- 溶融スラグ: 焼却灰を高温で溶融した後、水で冷却したガラス質のもの

【ごみ焼却施設における空間放射線量測定結果について】

- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン（平成23年12月 環境省）
- ・測定器名 CsI(Tl)シンチレーション検出器
- ・測定箇所 ごみ焼却施設の敷地境界の東西南北及びバックグラウンド

単位: $\mu\text{Sv/h}$

施設名	測定日	測定高	敷地境界				バック グラウンド
			東	西	南	北	
西部環境 センター	9月11日	1m	0.07	0.08	0.07	0.07	0.07
東部環境 センター	9月11日	1m	0.09	0.10	0.07	0.08	0.08
クリーン センター 大崎	9月11日	1m	0.07	0.08	0.07	0.09	0.07
岩槻環境 センター	9月11日	1m	0.06	0.08	0.06	0.07	0.07

※バックグラウンド: 焼却設備から十分離れた敷地境界

【第7回ごみ焼却施設における焼却灰等の放射能濃度測定結果について】

すべての測定値で、国が示す暫定基準値8,000Bq/kg以下の値でした。

- ・測定機関 内藤環境管理株式会社
- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン（平成23年12月 環境省）
- ・測定器名 ゲルマニウム半導体検出器

焼却灰等の放射能濃度測定結果

単位: Bq/kg

施設名	検体	採取日	ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137	セシウム 合計
西部環境 センター	焼却灰	10月9日	不検出 (14)	49	71	120
	固化灰	10月9日	不検出 (19)	150	260	410
	溶融スラグ	10月9日	不検出 (9.7)	不検出 (8.7)	不検出 (10)	不検出
東部環境 センター	焼却灰	10月9日	不検出 (10)	41	49	90
	飛灰	10月9日	不検出 (22)	380	580	960
クリーンセンター大崎 第一工場	焼却灰	10月9日	不検出 (9.8)	21	53	74
	飛灰	10月9日	不検出 (23)	290	480	770
クリーンセンター大崎 第二工場	焼却灰	10月9日	不検出 (8.3)	28	68	96
	固化灰	10月9日	不検出 (16)	130	240	370
岩槻環境 センター	焼却灰	10月9日	不検出 (12)	67	130	197
	固化灰	10月9日	不検出 (20)	250	380	630

※「不検出」とは、検出限界値未満を表します。また、()内は検出下限値を表します。

- 焼却灰: 燃やしたごみの燃えがら
- 飛灰: ろ過式集じん器等で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)
- 固化灰: 飛灰を薬剤処理し、固化したもの
- 溶融スラグ: 焼却灰を高温で溶融した後、水で冷却したガラス質のもの

【ごみ焼却施設における空間放射線量測定結果について】

- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン（平成23年12月 環境省）
- ・測定器名 CsI(Tl)シンチレーション検出器
- ・測定箇所 ごみ焼却施設の敷地境界の東西南北及びバックグラウンド

単位： $\mu\text{Sv/h}$

施設名	測定日	測定高	敷地境界				バック グラウンド
			東	西	南	北	
西部環境 センター	10月9日	1m	0.07	0.06	0.07	0.06	0.07
東部環境 センター	10月9日	1m	0.09	0.09	0.07	0.09	0.09
クリーン センター 大崎	10月9日	1m	0.07	0.07	0.07	0.08	0.07
岩槻環境 センター	10月9日	1m	0.06	0.08	0.05	0.07	0.07

※バックグラウンド：焼却設備から十分離れた敷地境界

【第8回ごみ焼却施設における焼却灰等の放射能濃度測定結果について】

すべての測定値で、国が示す暫定基準値8,000Bq/kg以下の値でした。

- ・測定機関 内藤環境管理株式会社
- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン（平成23年12月 環境省）
- ・測定器名 ゲルマニウム半導体検出器

焼却灰等の放射能濃度測定結果

単位: Bq/kg

施設名	検体	採取日	ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137	セシウム 合計
西部環境 センター	焼却灰	11月13日	不検出 (13)	38	69	107
	固化灰	11月12日	不検出 (12)	180	330	510
	溶融スラグ	11月13日	不検出 (4, 8)	7.3	9.4	16.7
東部環境 センター	焼却灰	11月13日	不検出 (8, 9)	19	33	52
	飛灰	11月13日	不検出 (21)	220	350	570
クリーンセンター大崎 第一工場	焼却灰	11月20日	不検出 (10)	18	56	74
	飛灰	11月20日	不検出 (18)	170	300	470
クリーンセンター大崎 第二工場	焼却灰	11月20日	不検出 (11)	29	49	78
	固化灰	11月20日	不検出 (14)	69	160	229
岩槻環境 センター	焼却灰	11月13日	不検出 (11)	53	68	121
	固化灰	11月13日	不検出 (19)	190	290	480

※「不検出」とは、検出限界値未満を表します。また、()内は検出下限値を表します。

- 焼却灰: 燃やしたごみの燃えがら
- 飛灰: ろ過式集じん器等で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)
- 固化灰: 飛灰を薬剤処理し、固化したもの
- 溶融スラグ: 焼却灰を高温で溶融した後、水で冷却したガラス質のもの

【ごみ焼却施設における空間放射線量測定結果について】

・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン（平成23年12月 環境省）

・測定器名 Csl(Tl)シンチレーション検出器

・測定箇所 ごみ焼却施設の敷地境界の東西南北及びバックグラウンド

単位： $\mu\text{Sv/h}$

施設名	測定日	測定高	敷地境界				バック グラウンド
			東	西	南	北	
西部環境 センター	11月13日	1m	0.07	0.07	0.06	0.06	0.06
東部環境 センター	11月13日	1m	0.09	0.09	0.07	0.09	0.09
クリーン センター 大崎	11月13日	1m	0.08	0.07	0.07	<u>0.10</u>	0.08
岩槻環境 センター	11月13日	1m	0.06	0.08	0.06	0.07	0.07

※バックグラウンド：焼却設備から十分離れた敷地境界

お知らせ

平成24年11月27日（火）から平成24年11月30日（金）までの間に提示した、クリーンセンター大崎敷地境界北側の空間放射線量の値に誤りがありました。お詫びすると共に正しい値に訂正させていただきました。

単位： $\mu\text{Sv/h}$

誤った値	1.00
正しい値	0.10

【第9回ごみ焼却施設における焼却灰等の放射能濃度測定結果について】

すべての測定値で、国が示す暫定基準値8,000Bq/kg以下の値でした。

- ・測定機関 内藤環境管理株式会社
- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン（平成23年12月 環境省）
- ・測定器名 ゲルマニウム半導体検出器

焼却灰等の放射能濃度測定結果

単位：Bq/kg

施設名	検体	採取日	ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137	セシウム 合計
西部環境 センター	焼却灰	12月11日	不検出 (12)	17	35	52
	固化灰	12月11日	不検出 (21)	320	530	850
	熔融スラグ	12月11日	不検出 (9.0)	不検出 (10)	不検出 (10)	不検出
東部環境 センター	焼却灰	12月11日	不検出 (11)	19	34	53
	飛灰	12月11日	不検出 (23)	200	380	580
クリーンセンター大崎 第一工場	焼却灰	12月11日	不検出 (13)	18	44	62
	飛灰	12月11日	不検出 (22)	240	400	640
クリーンセンター大崎 第二工場	焼却灰	12月11日	不検出 (9.6)	18	33	51
	固化灰	12月11日	不検出 (13)	85	150	235
岩槻環境 センター	焼却灰	12月11日	不検出 (11)	37	74	111
	固化灰	12月11日	不検出 (21)	190	310	500

※「不検出」とは、検出限界値未満を表します。また、()内は検出下限値を表します。

- 焼却灰：燃やしたごみの燃えがら
- 飛灰：ろ過式集じん器等で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)
- 固化灰：飛灰を薬剤処理し、固化したもの
- 熔融スラグ：焼却灰を高温で熔融した後、水で冷却したガラス質のもの

【ごみ焼却施設における空間放射線量測定結果について】

・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン（平成23年12月 環境省）

・測定器名 CsI(Tl)シンチレーション検出器

・測定箇所 ごみ焼却施設の敷地境界の東西南北及びバックグラウンド

単位：μSv/h

施設名	測定日	測定高	敷地境界				バック グラウンド
			東	西	南	北	
西部環境 センター	12月11日	1m	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06
東部環境 センター	12月11日	1m	0.09	0.09	0.07	0.09	0.09
クリーン センター 大崎	12月11日	1m	0.07	0.07	0.08	0.10	0.07
岩槻環境 センター	12月11日	1m	0.06	0.09	0.06	0.07	0.07

※バックグラウンド：焼却設備から十分離れた敷地境界

【第10回ごみ焼却施設における焼却灰等の放射能濃度測定結果について】

すべての測定値で、国が示す暫定基準値8,000Bq/kg以下の値でした。

- ・測定機関 内藤環境管理株式会社
- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン（平成23年12月 環境省）
- ・測定器名 ゲルマニウム半導体検出器

焼却灰等の放射能濃度測定結果

単位：Bq/kg

施設名	検体	採取日	ヨウ素	セシウム	セシウム	セシウム
			131	134	137	合計
西部環境センター	焼却灰	1月8日	不検出 (11)	15	21	36
	固化灰	1月8日	不検出 (22)	170	290	460
	溶融スラグ	1月8日	不検出 (8.8)	不検出 (9.1)	不検出 (10)	不検出
東部環境センター	焼却灰	1月8日	不検出 (10)	11	17	28
	飛灰	1月8日	不検出 (19)	110	250	360
クリーンセンター大崎第一工場	焼却灰	1月8日	不検出 (10)	15	29	44
	飛灰	1月8日	不検出 (18)	110	180	290
クリーンセンター大崎第二工場	焼却灰	1月8日	不検出 (8.5)	15	20	35
	固化灰	1月8日	不検出 (12)	56	120	176
岩槻環境センター	焼却灰	1月8日	不検出 (9.2)	17	41	58
	固化灰	1月8日	不検出 (19)	120	220	340

※「不検出」とは、検出限界値未満を表します。また、()内は検出下限値を表します。

- 焼却灰：燃やしたごみの燃えがら
- 飛灰：ろ過式集じん器等で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)
- 固化灰：飛灰を薬剤処理し、固化したもの
- 溶融スラグ：焼却灰を高温で溶融した後、水で冷却したガラス質のもの

【ごみ焼却施設における空間放射線量測定結果について】

- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン（平成23年12月 環境省）
- ・測定器名 CsI(Tl)シンチレーション検出器
- ・測定箇所 ごみ焼却施設の敷地境界の東西南北及びバックグラウンド

単位：μSv/h

施設名	測定日	測定高	敷地境界				バック グラウンド
			東	西	南	北	
西部環境 センター	1月8日	1m	0.06	0.06	0.07	0.07	0.07
東部環境 センター	1月8日	1m	0.09	0.09	0.07	0.09	0.09
クリーン センター 大崎	1月8日	1m	0.07	0.07	0.07	0.08	0.07
岩槻環境 センター	1月8日	1m	0.06	0.09	0.06	0.07	0.06

※バックグラウンド：焼却設備から十分離れた敷地境界

【第11回ごみ焼却施設における焼却灰等の放射能濃度測定結果について】

すべての測定値で、国が示す暫定基準値8,000Bq/kg以下の値でした。

- ・測定機関 内藤環境管理株式会社
- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン（平成23年12月 環境省）
- ・測定器名 ゲルマニウム半導体検出器

焼却灰等の放射能濃度測定結果

単位：Bq/kg

施設名	検体	採取日	ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137	セシウム 合計
西部環境 センター	焼却灰	2月12日	不検出 (12)	28	43	71
	固化灰	2月12日	不検出 (14)	120	210	330
	溶融スラグ	2月12日	不検出 (8.4)	不検出 (11)	不検出 (11)	不検出
東部環境 センター	焼却灰	2月12日	不検出 (10)	16	28	44
	飛灰	2月12日	不検出 (18)	170	280	450
クリーンセンター大崎 第一工場	焼却灰	2月12日	不検出 (5.7)	11	26	37
	飛灰	2月12日	不検出 (14)	140	280	420
クリーンセンター大崎 第二工場	焼却灰	2月12日	不検出 (6.5)	12	28	40
	固化灰	2月12日	不検出 (13)	85	140	225
岩槻環境 センター	焼却灰	2月12日	不検出 (8.9)	14	43	57
	固化灰	2月12日	不検出 (16)	130	250	380

※「不検出」とは、検出限界値未満を表します。また、()内は検出下限値を表します。

- 焼却灰：燃やしたごみの燃えがら
- 飛灰：ろ過式集じん器等で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)
- 固化灰：飛灰を薬剤処理し、固化したもの
- 溶融スラグ：焼却灰を高温で溶融した後、水で冷却したガラス質のもの

【ごみ焼却施設における空間放射線量測定結果について】

- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン（平成23年12月 環境省）
- ・測定器名 CsI(Tl)シンチレーション検出器
- ・測定箇所 ごみ焼却施設の敷地境界の東西南北及びバックグラウンド

単位：μSv/h

施設名	測定日	測定高	敷地境界				バック グラウンド
			東	西	南	北	
西部環境 センター	2月12日	1m	0.07	0.06	0.06	0.06	0.07
東部環境 センター	2月12日	1m	0.09	0.08	0.07	0.08	0.08
クリーン センター 大崎	2月12日	1m	0.07	0.06	0.09	0.08	0.07
岩槻環境 センター	2月12日	1m	0.06	0.09	0.07	0.07	0.07

※バックグラウンド：焼却設備から十分離れた敷地境界

【第12回ごみ焼却施設における焼却灰等の放射能濃度測定結果について】

すべての測定値で、国が示す暫定基準値8,000Bq/kg以下の値でした。

- ・測定機関 内藤環境管理株式会社
- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン（平成23年12月 環境省）
- ・測定器名 ゲルマニウム半導体検出器

焼却灰等の放射能濃度測定結果

単位: Bq/kg

施設名	検体	採取日	ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137	セシウム 合計
西部環境 センター	焼却灰	3月12日	不検出 (8.4)	19	49	68
	固化灰	3月11日	不検出 (8.6)	22	38	60
	熔融スラグ	3月12日	不検出 (9.9)	不検出 (10)	不検出 (11)	不検出
東部環境 センター	焼却灰	3月12日	不検出 (11)	20	53	73
	飛灰	3月12日	不検出 (12)	190	360	550
クリーンセンター大崎 第一工場	焼却灰	3月12日	不検出 (12)	18	49	67
	飛灰	3月12日	不検出 (21)	180	380	560
クリーンセンター大崎 第二工場	焼却灰	3月12日	不検出 (12)	29	58	87
	固化灰	3月12日	不検出 (17)	120	190	310
岩槻環境 センター	焼却灰	3月12日	不検出 (10)	37	69	106
	固化灰	3月12日	不検出 (19)	180	360	540

※「不検出」とは、検出限界値未満を表します。また、()内は検出下限値を表します。

- 焼却灰: 燃やしたごみの燃えがら
- 飛灰: ろ過式集じん器等で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)
- 固化灰: 飛灰を薬剤処理し、固化したもの
- 熔融スラグ: 焼却灰を高温で熔融した後、水で冷却したガラス質のもの

【ごみ焼却施設における空間放射線量測定結果について】

- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン（平成23年12月 環境省）
- ・測定器名 CsI(Tl)シンチレーション検出器
- ・測定箇所 ごみ焼却施設の敷地境界の東西南北及びバックグラウンド

単位：μSv/h

施設名	測定日	測定高	敷地境界				バック グラウンド
			東	西	南	北	
西部環境 センター	6月12日	1m	0.07	0.06	0.06	0.06	0.06
東部環境 センター	6月12日	1m	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08
クリーン センター 大崎	6月12日	1m	0.07	0.06	0.08	0.08	0.08
岩槻環境 センター	6月12日	1m	0.07	0.09	0.06	0.07	0.07

※バックグラウンド：焼却設備から十分離れた敷地境界